

だいすまたやマトにありがとう

たがまつ ゆうと

8がつ6にち、ヤマトくんがしにました。

ヤマトくんとは、おばあちやんが、だいじにそだてていたいのなまえです。ほくも、おばあちやんのいえに、いくたひに、ヤマトくんのおせあちがなびりました。さんほをしたリ、ごはんをあげたい、ただいっしよいてねびちみたりしてすごしました。ヤマトくんといると、ふあふあしていて、すあると、とてもしあせなまもちにほりました。おつと、いっしよにあそぶるとおもってりました。

8がつ6にちのよる、おかあさんから、ヤマトくんがしんだこととましましました。しんじらねまかせてした。でも、ヤマトくんにあえることは、にどとありまへんぞいた。おそうしきにいくために、おばあちやんのいえにいくと、いっつもだつたら、はってほくにやてきた、ヤマトのげんきですがたはもつとこ

にも、ありませんでした。かありにフめたく
てかたい、いままでにはなれたことの扱いヤマト
くんでした。とても、とてもかほしくて、し
らばいあいだに、扱みだとは扱みだがたくさ
んでて、おかあさんにあらあまりました。おか
あさんのかおをみると、おかあさんも扱いて
りました。そしてまた、扱みだがでました。
もういちど、ヤマトくんにあえるなら、い
ままでいっしょにあそんでくれて、ありがとう
うといいたいです。